
2007 年度冬学期 第 6 回 物性セミナー

「乱れた超伝導体の極低温渦糸状態とダイナミクス」

講師 大熊 哲 氏 (東工大極低温物性研究センター)

日時 2008 年 1 月 18 日 (金) 午後 4 時 30 分～

場所 16 号館 827

第 2 種超伝導体の渦糸系は、2 次元超伝導絶縁体転移や KT 転移、あるいは固体の摩擦現象といった物理学における古くからの基本的問題を解明する上で重要であると共に、プラスチックフローや動的相転移現象、あるいは強い量子ゆらぎの下での固体のダイナミクス、量子相転移といった近年注目されている現象を調べるための格好の舞台ともなる。本セミナーでは、アモルファス超伝導膜の渦糸系において、近年我々のグループが見出したいくつかの新規物理現象について概観したのち、モードロック共鳴法と呼ばれる、渦糸固体を駆動させピン止めの影響を排した状態で、渦糸系固有の動的量子融解現象をはじめて捉えた実験結果についてご紹介する。

○今後の予定

1 月 25 日 齊藤 圭司 氏 (東京大学理学研究科物理)

TBA

2 月 1 日 橋本 幸士 氏 (理研)

「D ブレーン：超弦理論の高次元物体が描く世界像」

○物性セミナーのページ

<http://huku.c.u-tokyo.ac.jp/cgi-bin/FSwiki/wiki.cgi/BusseiSeminar>

物性セミナー世話人：加藤雄介
福島孝治
簗口友紀
堺 和光